

ロボットを末永くお使いいただくために 実施いただきたいこと

安全にお使いいただくための4ポイント

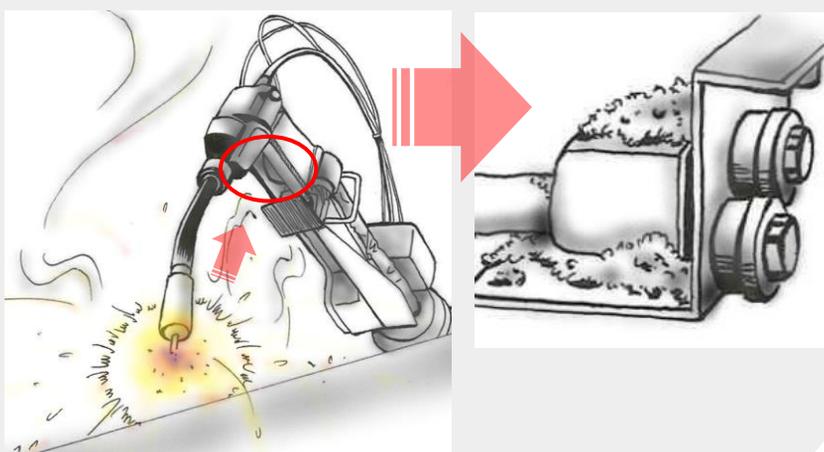
トーチ周辺の定期清掃

溶接時に発生したスパッタが、トーチ根元の絶縁部品に付着・堆積すると、表面が炭化することがあります。

日常点検時に、付着・堆積したスパッタの除去・清掃をお願いします。

なお、絶縁部品へのスパッタ付着・堆積を防ぐカバーをご用意していますので、弊社販売店、サービス店へご用命ください。

絶縁部品の炭化が進行すると、トラッキング火災の原因になるおそれがあります。



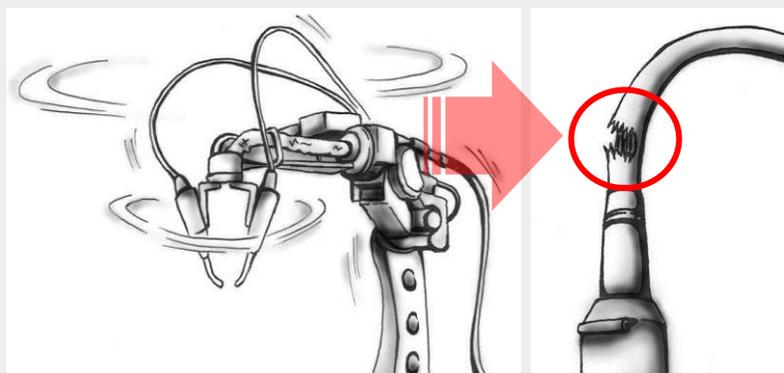
フレコンの定期点検・交換

ロボット動作に伴う引っ張りやねじれなどの繰返しにより、フレコン根元に負荷がかかり破断することがあります。

フレコンに損傷や、破れなどがなければ定期的に点検を実施いただき、異常がある場合は、交換してください。

また、異常がない場合でも、予防保全のため、定期的（1年程度）に交換されることをお勧めします。

フレコンが破断した状態でご使用されますと溶接ワイヤが露出し、アームや治具などの金属部へ触れることで、思わぬ事故につながるおそれがあります。



⚠ 安全に関するご注意

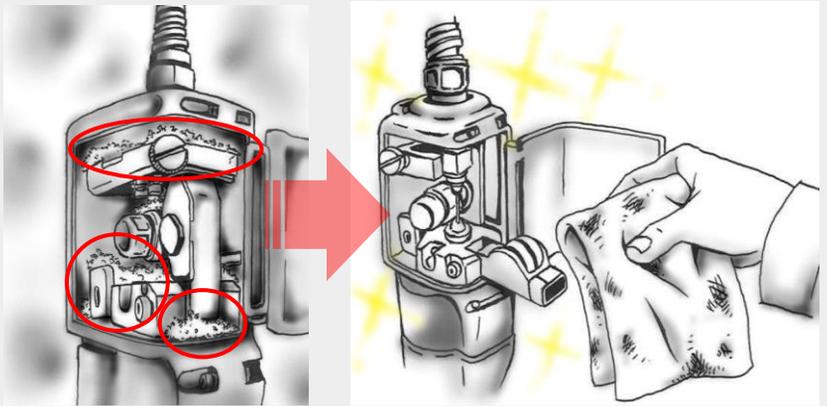
- ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 溶接機ならびにコントローラーは換気することができ、しかも可燃物のない屋内に設置してください。
- 溶接で発生するアーク光、飛散するスパッタやスラグから、あなたや他の人々を守るために、保護具を使用してください。
- 溶接で発生するアーク音から、あなたや他の人々を守るために、防音保護具を使用してください。
 - 防音保護具を未使用の場合は、回復しない騒音性の難聴を引き起こす場合があります。
 - 防音保護具の種類（耳栓、耳覆い（イヤーマフ））は、JIS T8161(防音保護具)に従ってください。

フィードユニット内部の日常点検・清掃

アクティブワイヤ溶接法による溶接ワイヤ制御により、フィードユニット内にワイヤの摩耗粉が溜まることがあります。

日常点検時に、フィードユニット内部の清掃を実施してください。清掃は、摩耗粉が散乱しないようエアブローではなく、アルコールなどを染み込ませたウエス等でのふき取りをお願いします。

摩耗粉が溜まりますと、ワイヤ送給動作を阻害するだけでなく、摩耗粉が隙間などに入り込み、金属ケースとの間で地絡するおそれがあります。



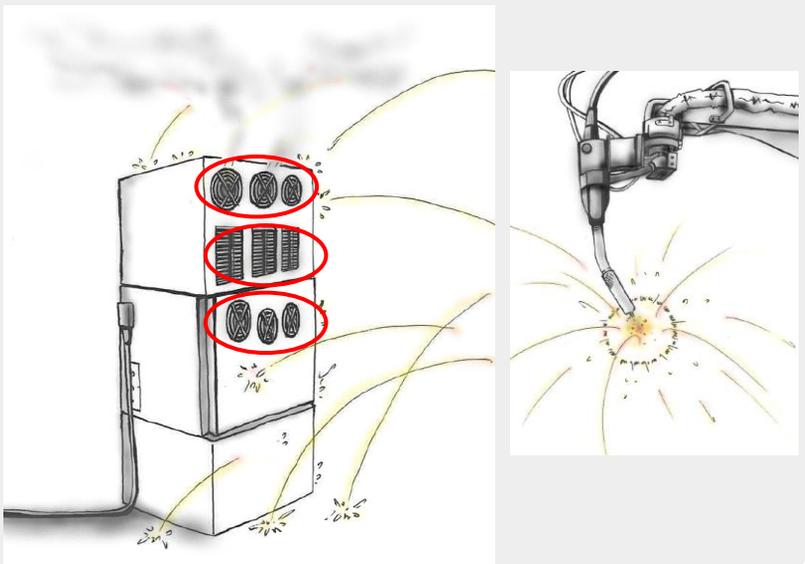
コントローラー内部の定期清掃

溶接時に発生したスパッタが想定以上に飛散し、開口部からコントローラー内部へ侵入することがあります。

パーティションやカバーを設置するなどのご配慮をお願いします。設置に際しては、弊社販売会社、サービス代行店へご相談ください。

また、定期的にコントローラー内部の点検・清掃の実施をお願いします。コントローラー内部の点検・清掃は、弊社販売店、サービス代行店へご用命ください。

侵入したスパッタが内部の可燃物に付着すると、冷却ファンにあおられてくすぶり、発煙するおそれがあります。



パナソニック コネクト株式会社

プロセスオートメーション事業部
〒571-8502 大阪府門真市松葉町2番7号

パナソニック F S エンジニアリング株式会社

〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号



0120-700-912

受付9時～12時、12時45分～17時
(土日、祝日、年末年始、当社所定の休日を除く)

IR202307J01